




西内野小「いじめ見逃しゼロ」の取組

ヒトは「いじめ」をやめられない 脳科学者 中野信子

6月は、学校生活にも慣れはじめ、クラス全体の様子が見えてくる頃です。ルールに従わない人や、みんなと違う動きをする人が見え始めるとともに、新たなクラスの中での人間関係ができてくる頃です。そのような中で、あいつは攻撃してもよいのだという口実を見つけやすくなってきてしまいます。この時期に標的になってしまうと、いじめは過激化しやすいため、科学的にも危険な時期であることが指摘されています。

そのような時期をとらえ、学校では「いじめ見逃しゼロ」を強調する期間を設定し、7つの取組を行うことにしています。今回の学校だよりでは取組の第3段階としての、全校一斉「道徳」授業の様子をお伝えします。

すべての人がいじめをしない、許さない気持ちを強くもち、いじめを見逃さない西内野小学校を目指します。いじめについて一人一人がじっくり考え、様々な活動に真剣に取り組めます。

段階	取組や活動	内容	実施期日
I	6・7月の生活のめあて 「やさしい言葉を使おう」の 各学級での取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「やさしい言葉を使おう」を達成するために、学級で取り組むことを決めました。 ・普段から自分の言葉づかいに気を付けることにしました。 ・先生やお客様・ボランティア・目上の人への言葉づかいに気を付けることなど話し合いました。 	6月 1日(水) ～ 7月22日(金)
II	第1回全校いじめ調査	<ul style="list-style-type: none"> ・全員にいじめ調査(アンケート)、教育相談を行い、一人一人の困り感を受け止めることができました。 	5月23日(月) ～6月1日(水)
III	全校一斉「道徳」授業の実施 ※授業の様子を紹介します。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめについて考える「道徳」授業を行い、いじめをなくそうという意識を高めたり、いじめについての考えを深めたりしました。 	6月 1日(水) 2日(木)
IV	全学級での学級会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ見逃しゼロ」に向けて学級のみみんなで取り組むことやがんばることについて話し合いました。 	6月 3日(金) ～16日(木)
V	「いじめ見逃しゼロ集会」 の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学級で話し合ったことを発表し合い、取組を全校に広げます。 	6月17日(金) 3限
VI	 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・集会の感想を話し合ったり、書いたりして、いじめをしない、許さないという気持ちを共有します。 	6月17日(金) 以降の6月中
VII	全校青空遠足	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が所属感を味わい、仲間意識や自己有用感を高めていきます。 	6月24日(金)

6月1.2日 地域別学習参観 ～「道徳」授業の様子～

1年生

「あしたはえんそく」

登場人物の気持ちや行動について考え、話し合うことを通して、相手のことを考え、優しく接することの大切さについて考えました。



子どもたちの感想

○あしたからみんなとなかよくすごしたい。
○あしたからみんなにやさしくする。

○あしたからにこにこくらすにしたい。
○じぶんとみんなをたいせつにする。

2年生

「およげないりすさん」

登場人物の気持ちや行動について考え、話し合うことを通して、友だちと仲良くするために大切なことを考えました。



子どもたちの感想

○これからは、なかまはずれにしないで、さいしょから、いっしょにいれてあげたいです。
○自分とちがうところがあっても大切にするところをもつことが大切だと思いました。
○みんなの好きなあそびをかんがえて、たのしくあそびたいです。
○みんながたのしくすごすために、こまった子がいたら、こえをかけます。

3年生

「ともだち屋」

商売で「友だち屋」を始めたキツネの心の変化を通して、友達とは、どんな存在なのかについて考えました。



子どもたちの感想

- おおかみのように、間違っていることもきちんと言ってくれる人が、本当に信頼できる友達だと思いました。
- 友達とは、お互いを大切に思う人だとわかったので、これからも友達を大切にしていきます。
- 友達とは、たまに喧嘩したり遊んだり一緒に笑ったりするものです。これからも、仲良くしてどんどん友達を作りたいです。

4 年生

「学級会での出来事」

互いの意見を尊重し合えないまま、お楽しみ会の内容を決めてしまう学級会の様子を通して、みんなで話し合いをするときに、どんなことを心がければ良いかについて考えました。話し合うことにより、自分とは異なる意見にも耳を傾け、よりよい関係性を築くためには、どうしたらよいか考えました。



子どもたちの感想

- わたしも、言いたいことを言えないことがありました。発表したとき、反対意見を言われると思うと、手を挙げられなかったことがありましたが、次からはすぐに言える自分になりたいです。
- 意見に反対する人に、反対する理由は何ですかと聞いて公平さを保ちたい。もし、私がある場にいたら、どちらもすれればいいと思いました。時間を半分にするとか工夫したい。

5 年生

5年生はクラスの課題にあった題材を選び授業をしました。
「どうすればいいのだろう」友だちとのやりとりの悩みについて考えました。
1組 2組 3組
「すれちがい」友だちと気持ちがすれ違ったとき、どう対応すればいいのか
4組 クラスで考えました。



子どもたちの感想

- 自分が気づいていないだけで、自分も人によって態度を変えているかもしれないので、態度をあらためてみます。
- これからは、心の中で思うだけじゃなくて、公正・公平を行動に移したい。そのために「やさしく言う」「納得するまで」を特に頑張りたい。
- 友達がいじめられていたら、勇気をもって注意する。
- お互いに納得するまでしっかり話をして、仲良くする。
- 相手の気持ちを受け止める。

6年生

6年生はクラスの課題にあった題材を選び授業をしました。
「生き方」1組 一人で行くことが困難だと思ったとき、どうすればよいか。
「いじめと生きる」2組 いじめにハッピーエンドはあり得るか。
「泣き虫」3組 いじめのないクラスにするためにはどうしたらよいか考える。
「私の妹」4組 いじめは生きる機能をつかさどる脳を傷つけてしまうことになるから、絶対にしてはいけないことを学ぶ。



子どもたちの感想

- 悲しいことがあったとしても、だれかが自分のことを助けてくれるということが分かった。
- いじめは一生心を傷つけ続けると改めて思った。加害者も一生後悔することになる。自分も知らないうちに誰かをいじめないように気をつけたい。
- まず自分自身がいじめをしない。そして、誰かがいじめをしていたら、自分はその人と一緒にやるのではなく、その人を注意したり、いじめを止めたりする。
- いじめは人間の「生きるために大切な脳」を傷つけていることが分かり、いじめはぜったいにしてはいけないと改めて思いました。

しおかぜ

「やさしい言葉（友情）」1組 「く・う・は・く時間」2, 3組
うれくなる言葉、悲しくなる言葉について考え、7月の生活のめあて
「やさしい言葉を使おう」につなげる。



- 「ちくちく言葉」、使わないでやさしい言葉「ふわふわ言葉」を使おうと思いました。
- 「自分の思いを伝えること」「相手の気持ちを考えた言動を心がけること」の大切さがわかりました。

みどりの丘がきれいになりました

6月4日（土）にPTA 環境整備部主催による「みどりの丘の泥上げ作業」が行われました。たくさんの方からご参加いただき、きれいに整備することができました。子どもたちは毎日、みどりの丘で楽しく遊んでいます。ありがとうございました。

